



地震から身を守る ~マイマップのススメ~

平成20年7月



(社) 日本技術士会東北支部応用理学部会
地震防災ワーキンググループ
宮城県技術士会防災委員会

マイマップをつくってみよう！

◎ ワイワイガヤガヤ大歓迎、惜しみなく知識や知恵を出す！



いつどこで起きても不思議ではない、**でも？**

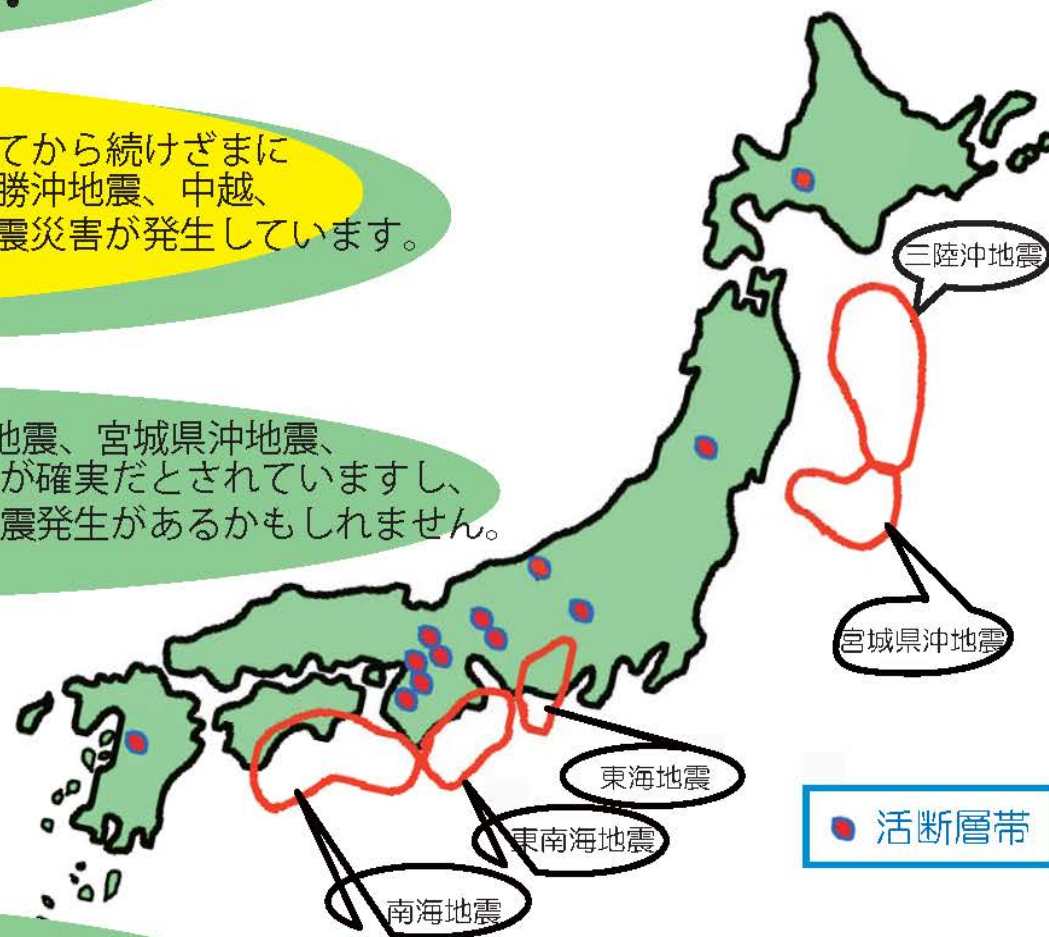
今世紀に入って 1995 年に阪神・淡路大震災が起きてから続けざまに鳥取県西部地震、芸予地震、宮城県連続地震、十勝沖地震、中越、福岡県西方沖、中越沖、岩手・宮城内陸と各地で地震災害が発生しています。

今後 30 年の間には、東北日本の太平洋側での三陸沖地震、宮城県沖地震、西日本では太平洋側で東海地震、東南海地震、南海地震の発生が確実だとされていますし、そのほかにも岩手・宮城内陸地震のように予想外のところでの地震発生があるかもしれません。

これらの地震は発生の予想ができて、その機構がわかって、地震そのものをなくすことはできません。

そこでこうした地震による災害に対して何らかの備えが必要になります。対策はまず、持ち場持ち場で自分ができることをしていけば、被害を最小に近づけることができると思います。

そのためには、正しい情報を身につけておくことが大切です。「なんとかなるさ」と何も考えずにいたら、今までの多くの地震で見聞したような大きな災害や混乱が起きて、大変な苦労や悲しみを味わうことになると思います。



そこで私たちは自助として何ができるのかを考えました。

それには自分たちが生活や活動する地域を知る中で

- ・過去の災害履歴を調べてどのような被害が発生したのかということ把握する。
- ・その災害が何ゆえのものであるかということを知ることが必要であるということでした。

このような日常的な小さなことをきっかけに周りの備えを見直し、
手作り防災マップを地域に根付かせていくことで
災害に強い街づくりにもなるということにたどり着いたのです。

それが‘マイマップ’という
災害履歴、震災の教訓、地域知などが詰まった情報箱になって
《お助けマップ》になるということになるのです。

震災の教訓

震災の記憶

地盤情報

地域情報
(ひと・もの)

地域史



ただしこのマップは
「作っただけでは自己満足・あるだけでは邪魔・見ているだけではお飾り」
という性格があります。
ぜひこのマップを大きく育てて
上手に分身として活用していただきたいと思います。

マイマップって なに？

「マイマップ」は手作りの防災マップ

マイマップは**自分と家族のための防災マップ**です。
自分の住んでいる町、通勤・通学しているところ、
買い物に行くところ、子供の住んでいる町などの
いろいろな情報を書き込んだ

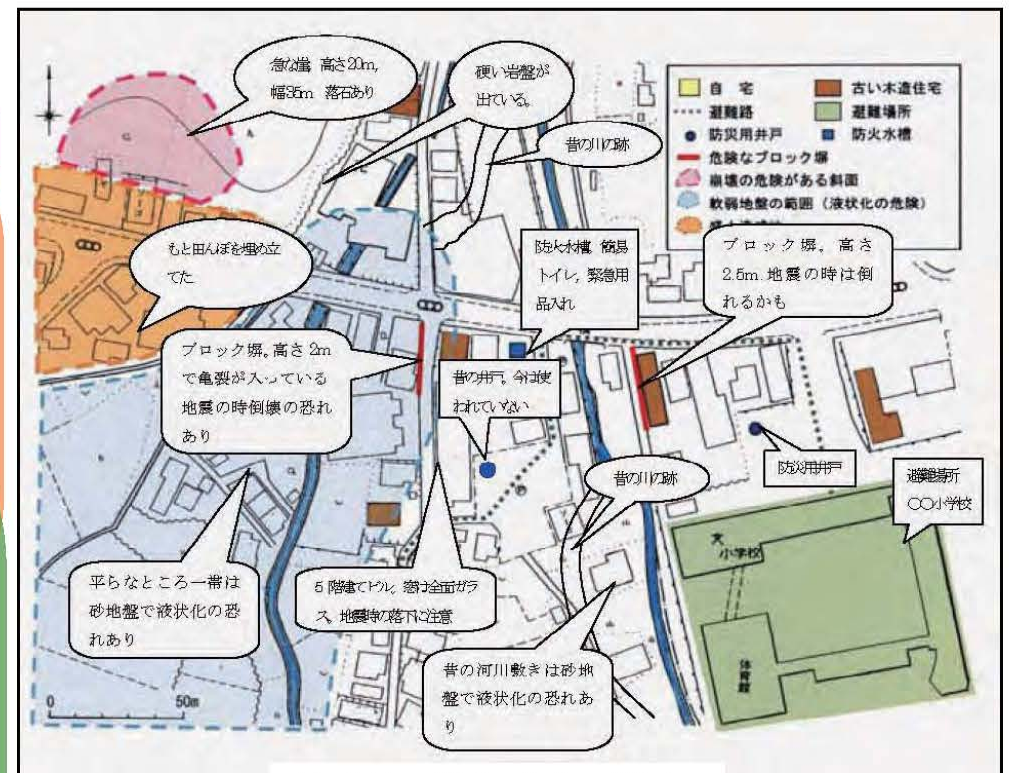
手作り防災マップです。

これまでも県・市・町や村そして町内会で地域の“防災マップ”
を作ってきましたが、被害を受けたブロック塀、落下物や
地震後に役立つ広場や飲み水、揺れやすさに関係が深い地盤の
情報などは入っていないかごくわずかの情報でした。

また、避難経路も書かれていません。やはり、

**身近な情報は自分たちで探しに
いかなくてはならない**

ようです。ただ見ただけでは忘れてしまいます。
何かに書き留めておきましょう。これがマイマップです。
自分の住んでいる町や通勤通学している経路をこのような目で
見てみましょう。新たな発見がきっとあるはずです。



マイマップのイメージ図

**マイマップは
自分たちのために作るマップですから
自由に作れます。
書き込み、写真など、自分のできるやり方で
作ることができます。**

「マイマップ」は役に立つの？

マイマップには10ものよいところがあります

- 1 マイマップは地震から身を守るための**身近な情報箱**です
- 2 **地域の防災マップと一緒に使う**と効果が倍増します
- 3 **いつでもどこでも**地震に対する備えが自然と身に付きます
- 4 避難経路がわかるので地震発生にも**余裕と自信**がわきます
- 5 **自分で作れる**ので身に付きます
- 6 通学・通勤など**自宅以外の場所にも応用**が利きます
- 7 地域住民の**地震の記憶の風化と、ボケ防止**に役立ちます
- 8 ネットワークが広がり、**いろいろな視点でマイマップづくり**ができます
- 9 **復旧ボランティアの方の心強いガイド役**になります
- 10 **わが町再発見**になります

マイマップを作ってみよう ～我が町再発見～

〔自分でできる防災マップ〕



用意するもの

- ・ 図版（A3 版）
- ・ 白地図、住宅地図（都市計画基本図 ※）
- ・ 筆記用具、色鉛筆、消しゴム
- ・ 定規
- ・ コンパス（磁石）
- ・ デジタルカメラ、フィルムカメラ

※ 都市計画基本図は各市町村の建設課、建築課、都市計画課などで入手できることがあります。

☑ フィールドワークー地域の再発見ー〔地域を知ろう〕



ー地図を持って目と足を使って**頭上**訓練ー

- ・図上で記号化、着色してわかりやすく！
- ・忘れないようカメラで撮影



〔三陸河北新報社（石巻かほく）提供〕

ーどこが危ないかー

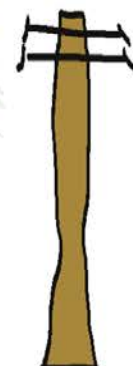
- ・地形・地盤の変化は？→揺れやすい所は？
- ・地震発生時のシミュレーションをしてみましょう
自分の安全・家族の安全のために！
- ・自分にあった自分のためのマイマップを
作ってみましょう
- ・地震の時役立つところは？
どんなところ？どんなもの？

☑ マイマップに書き込む情報



直接身近で地震時の被害

ブロック塀、看板、窓ガラス、電柱、地盤の情報など



地震直後に役立つもの

一時避難所としての空き地、コンビニ、病院（医院）、自販機、人助け情報など

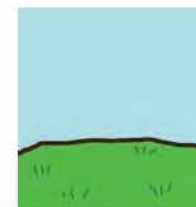


地震後の復興期

金物屋、ホームセンターや工務店・薬局など



上記に限らず、地震の時を想像したり、
体験者のお話などからいろいろな情報を集めることが大切です。
それを図面にしてみましょう。
このような情報を知って図面に書き込んでおけば地震に対する準備ができます。
日頃からの備えになります。地元を見直してこのような情報を集めておくと、
地震への準備はより充実したものになります！



☑ マイマップの着眼点①ー地震の時に危険なものー 〔落下・転倒・倒壊〕



高いビルの窓ガラスと古い看板



自販機と看板・瓦屋根



古い家屋とトランス



トランスと消火栓



- 行止りの狭い路地
- 地震時ブロック塀倒壊
- 通れないかもしれない



きれつの入ったブロック塀

☑ マイマップの着眼点②ー地震後ー

〔避難場所・病院・緊急用水源（井戸）〕



学校などの避難場所



近くの病院



身近な空地や駐車場（一時避難場所）



現在も使用されている井戸

- ・どこが危ないか！？
- ・どこに避難すれば？
- ・家族の集合場所は？

✓ 街の被災履歴 —過去の災害を忘れずに思い起こしてみよう—



急傾斜地の崖崩れ↑
右写真は直近の崩壊状況→



台風による北上川増水・浸水



昭和35年チリ津波（旧志津川町）



昭和三陸津波記念碑（旧北上町）



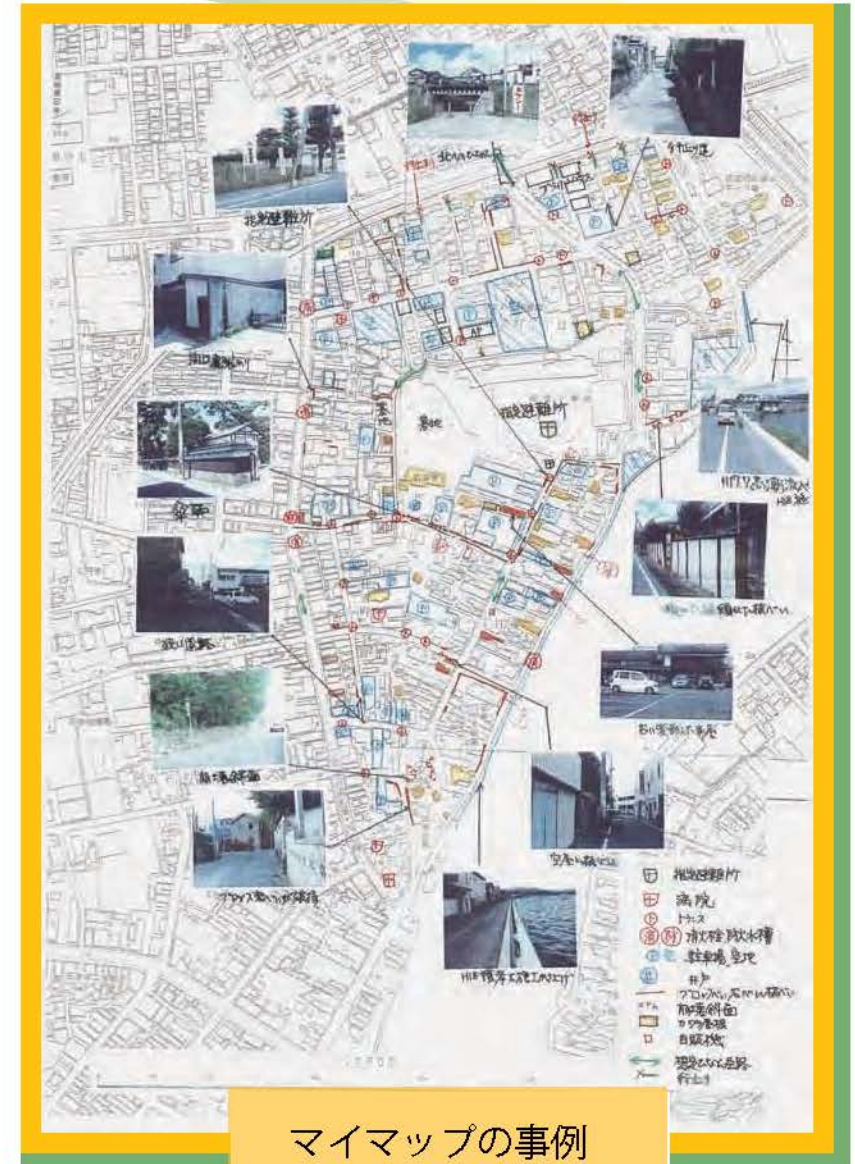
昭和53年6月宮城県沖地震（仙台緑が丘）

✓ マイマップのまとめ方ーみんなでコミュニケーションー 〔自助から共助へ〕



みなさんでマイマップ整理
コミュニケーションの場となる

- ・マイマップを集めて町内会の防災マップもできます
- ・一人暮らしの方や体の不自由な方の所在も考えましょう
- ・作ったマップは毎年確認更新しましょう



マイマップの事例

マイマップを使ってみよう

～いざという時に備えて～

地震の時

避難経路が確認できます
避難場所がすぐにわかります
近くの危険なものがわかります
近所の安否確認と救助ができます

復旧・復興の時

一時避難所がわかります
資材や協力してくれる人がわかります
ボランティアの方への情報提供がスムーズになります



1978年6月12日 宮城県沖地震の建物被害

増田孝一郎氏撮影

総合防災マップ

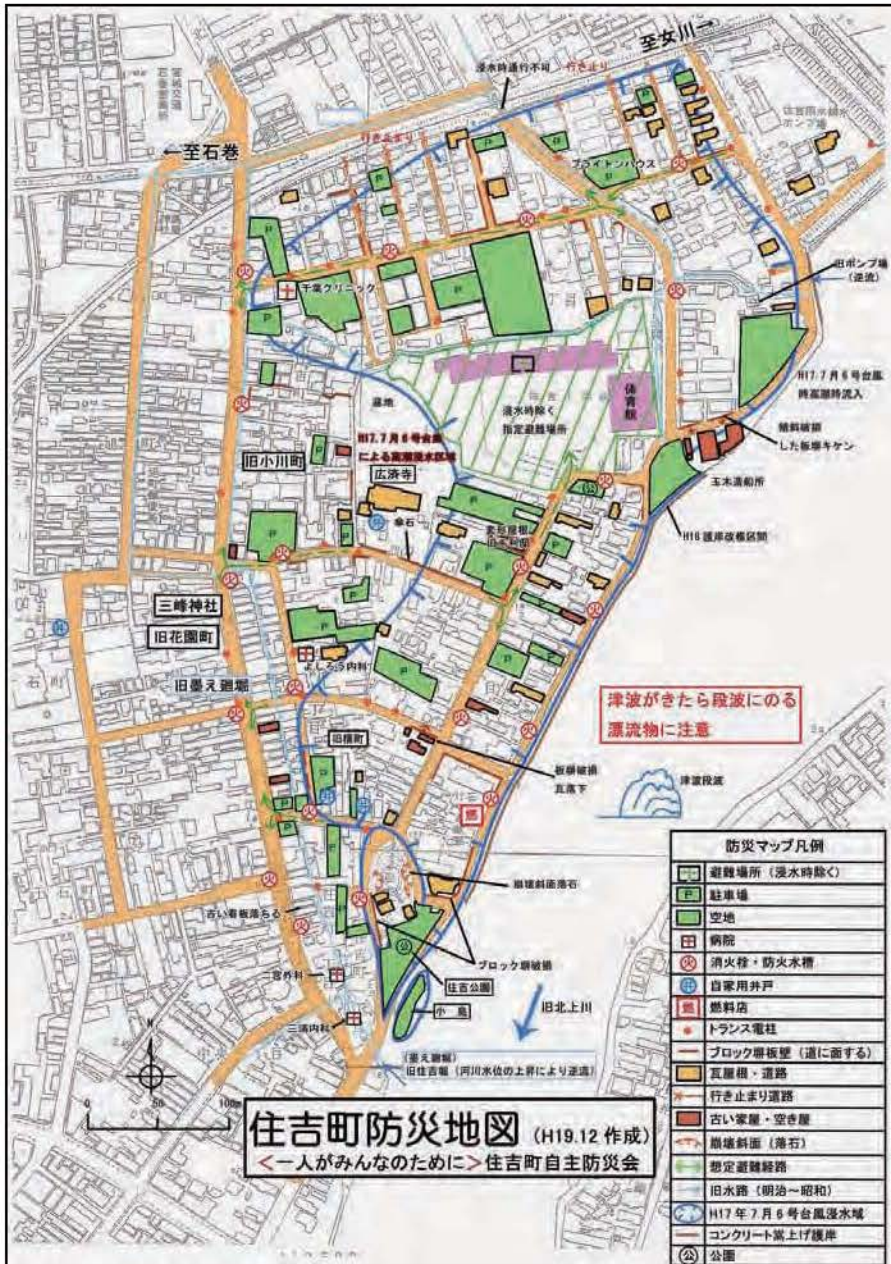
マイマップは特にグループで作ると効果的です。多くの人といろいろな見方ができ、いろいろな角度から住んでいる町や通勤通学路を見直すことができます。自分でも気がつかない情報も得ることができます。

町は変わりますので、作ったマイマップの確認を兼ねて更新しましょう。

更新時期はご自分で判断されるとよいでしょう。建築や工事が盛んなところでは期間を短く、あまり多くないところでは長く。

それでも1年に1回は見直したいものです。

さらに、**マイマップを集めて町内でまとめると、町内会の総合防災マップ**ができます。



マイマップを集めて作成した総合防災マップ

(石巻市住吉町自主防災会、2008.1)

マイマップ式でいこう

マイマップを作る感覚で街を歩こう

目線を立体的に・・・足元は？頭の上は？
自分の手と足と頭を使った情報集めが大切
感覚を大事に・・・揺れたら危ない！
まちのものと歴史の再発見！過去の災害は？
地震に限らず浸水被害、土砂崩れなども注意
万が一の時・・・歩いて帰れますか？？

避難経路の確認と一時避難場所の確保

避難場所に使えるところは？
水や食べ物の確保は
お年寄りや子供は？
想像力を働かせて頭上訓練！



マイマップを作ったときの見方、感じ方を忘れずに！！



宮城県北部地震の石積み・ブロック塀の倒壊写真



ブロック塀と避難路？地震の時は大丈夫？？

《土砂災害から身を守るために》

2008年6月14日の地震（岩手・宮城内陸地震）では土砂の移動による崩壊・地すべり・土石流が発生しました。身のまわりのほかに、周辺の地形にも注意しましょう。役所が発行、発信する情報（お知らせ）に敏感になりましょう。

がけ崩れ地域、地すべり地域、土石流危険溪流、洪水・震災マップなどがあります。



がけ崩れの前ぶれ

- ・水がにごる
- ・ヒビが入る
- ・小石がパラパラ



地すべりの前ぶれ

- ・ひび割れができる
- ・沢や井戸の水がにごる
- ・水が吹き出す



土石流の前ぶれ

- ・山鳴りがする
- ・川の水位が下がる
- ・流れがにごったり流木がまざってくる



いつもの流れ



流れが変わる→水没・洪水



河川閉塞→決壊→土石流

自分の目で、
多くの人の目で、
鳥の目で！

集まったら防災・減災を話題に！

Dogtor ワン

